

新しいHAC経営体制に向けての北海道との協議状況について

1 北海道と確認した基本的な方向性について

HACの拠点については、丘珠空港に移転する。
 札幌市によるHAC支援として、出資および丘珠移転にかかる経費への補助を行う。
 上記については、今後、他の関係自治体や経済界の動向も踏まえ、最終的に合意したいと考えている。

2 北海道が示したHACの事業プラン案骨子

(1) 事業運営の基本方針

・離島の振興をはじめ、道民生活や地域間交流、観光の振興に不可欠な道内航空ネットワークの中核を担う航空会社として、安定的な運航継続を図っていく。

(事業方針)

離島航空路線の維持確保をはじめとする、道民生活の安定に寄与
 札幌圏と地方都市などの連携・交流による経済産業の活性化の支援
 札幌圏とのアクセス強化により地域医療、教育・福祉等の地域ニーズに対応

(2) 新たな経営体制

減増資の実施

- ・減資の実施により累積債務を解消し、増資により経営基盤を確立
- ・減資にあたっては株式数を変更せずに資本金のみを減額

(株価については、専門家の意見を聞いてJALと協議中)

資本規模

- ・資本金は4億9,000万円とし、増資額のうち資本金を上回る分は資本準備金として計上(増資額については現在調整中)

株主構成

- ・北海道、JAL、関係自治体、経済界などで構成
- ・JALの更生計画に基づき、JALの持株比率は14%程度に引き下げ
- ・北海道とJALで50%超の出資を基本とし、北海道は36%程度
 想定出資比率

北海道 (36%程度)	JAL (14%程度)	札幌市 (14%程度) ※JALを上回らない比率	関係自治体・経済界など (49%程度)
← 過半数(50%超) →			

新たな経営体制への移行時期

- ・年度内を目途として調整

(3) 事業計画

拠点空港

- ・札幌丘珠空港を拠点空港とする。

丘珠空港を、札幌市や地方の企業活動を支え、札幌市などが有する高度医療などの高次都市機能や医師派遣などの地方のニーズに応える、道内航空ネットワークの中核を担う拠点空港として位置付け、活用を図る。

路線計画 (H22～26)

分類	路線名	備考
主要路線	丘珠～函館	現在運航している新千歳～釧路、新千歳～女満別は丘珠に集約
	丘珠～釧路	
	丘珠～女満別	
離島路線	函館～奥尻	運航継続
その他路線	函館～釧路	見直しを検討中
	函館～旭川	

- ・将来的な路線展開や機材計画については、経営状況などを見極めながら、より安定的な経営を確立するために、適切な機材計画や路線のあり方を検討する。